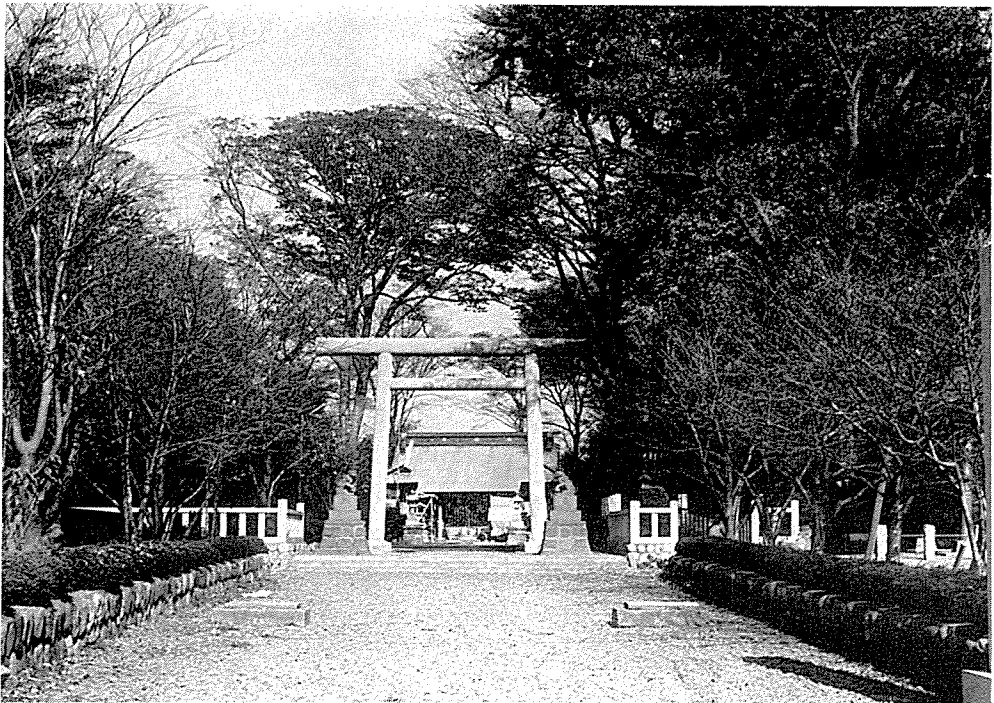


Ⅱ 植 生 概 観

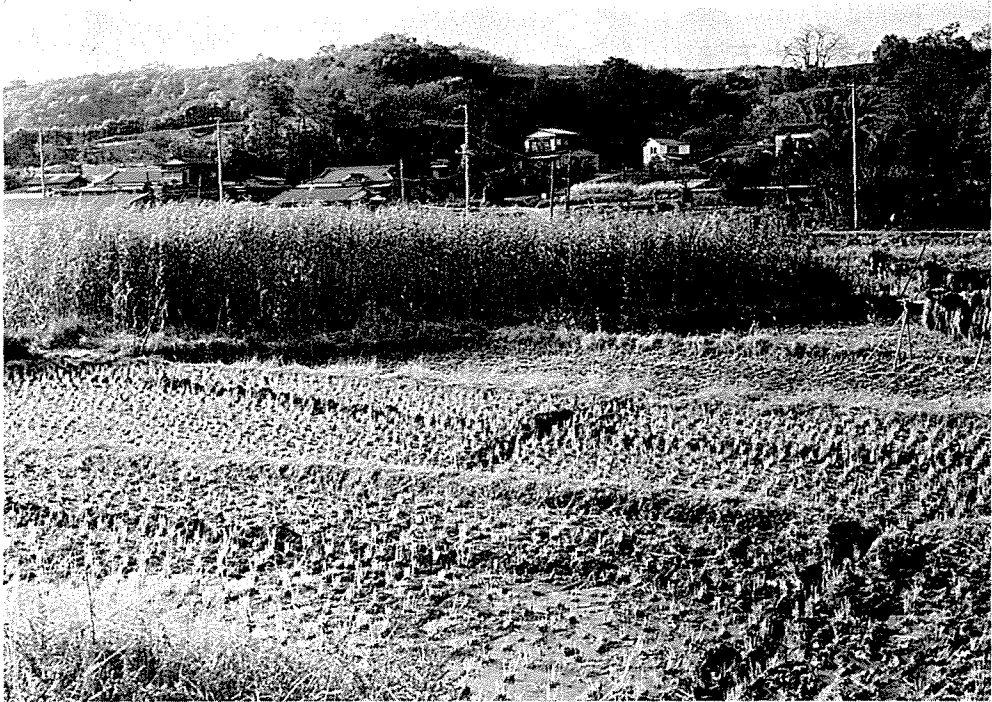
平塚市は古砂丘上に位置する市街地と北部の広大な面積を占めている沖積低地，さらに周辺の浅間山，高麗山などの低山地や土屋・金目・岡崎などの丘陵地がせりだしている。

自然植生は平塚市ではきわめて少なく，相模湾沿いの砂丘地帯に島状に点在するコウボウムギ，ハマヒルガオなどの海岸砂丘植生や相模川ぞいの，年に数回増水時に水をかぶる河辺植生のような環境条件がきびしい地域にわずかに残されている。浅間山，高麗山なども自然植生は少なくクヌギ，コナラの二次林が広く広がっている。薪炭林として長く利用されてきたため萌芽林の形態を呈している。平塚市民が昔からいかに勤勉に自然を改革してきたか理解される。

また平塚市内には 200 を越す神社や寺院があるが，新しいものが多いため近代的建築様式で，昔からの歴史とともに残されてきた社寺林——ふるさとの森——の原形をとどめるものはきわめて少ない。昔から自然に脅威を感じ恐れ，たたり意識とともにそこに神社・仏閣をつくり，自然の森厳さを背景に神社・仏閣の周囲に手を加えることをタブーとしてきた。そのため常緑広葉樹林を主とする地域では神社や寺の社叢林の形で自然が残されている。平塚市では八幡神社にま



Phot.2 平塚市田村前鳥神社。数多い神社・寺院の中で，比較的緑が残っている社叢。
 Shinto-Tempel Sakitori mit Torii in Tamura. Um die zahlreichen Shinto- und Buddhistischen Tempel ist eine noch verhältnismäßig reiche Vegetation erhalten geblieben.



Phot. 3 平塚市北西部に残されている田園景観。平塚市民の発展の潜在エネルギーの蓄積場ともなっている。

Idylische bäuerliche Wirtschafts-Landschaft, die noch im NW-Teil der Stadt Hiratsuka erhalten ist.

まって小面積で残されているが、他では比較的人為的影響が加わり単木的にケヤキや常緑広葉樹の大木が残されているにすぎない。

土屋、北金目、岡崎などでは屋敷林として比較的自然に近い形でタブ林やスダジイ林が残されている。

平塚市北部の低地は広大な面積で水田に耕作されている。藤沢市・鎌倉市などではわずかに乾燥している地域もあるが、平塚市では湿田で耕作放棄されたところではコガマ、ヨシ、ミゾソバなど湿生草原化している。

平塚市西部の土屋、上吉沢、北金目、岡崎などの小丘陵地は丘陵上に広く畑地が耕作され、斜面は帯状にコナラ林、スギ植林やモウソウチク林が生育している。谷部低地は水田耕作地として利用され、丘陵地下部に集落が集まっている。かつてドイツやフランスの生態学者が訪日した際に、高度成長をつづける日本人の底に流れるエネルギーはこの田園景観に潜在していると発言していた。平塚市の市街地は古砂丘地帯の緑が少ない地域に集まり、放射状に周辺に広がる田園景観は、平塚市の現在までの市民のエネルギーの蓄積場であり、今後の発展の基盤となりうる地域と考えられる。